

東アジア首脳会議 各位

2025年11月にASEAN本部
に提出します



戦争するな！どの国も

東アジアを不戦、平和、協力、繁栄の共同体に

東南アジア諸国連合（ASEAN）は、2019年の首脳会議で採択した「ASEANインド太平洋構想（A0IP）」の実現を求めて今、積極的な外交を展開しています。A0IPは、インド太平洋地域を、対立・抗争ではなく、対話と協力、平和と安定・繁栄の地域にしようとするものです。ASEANでは、すでに東南アジア地域で紛争の平和的解決をはかる「東南アジア友好協力条約（TAC）」を締結。この条約に、日本・中国・韓国・朝鮮民主主義人民共和国・アメリカ・ロシア・インド・EUなど50を超す国・機構が調印しています。2024年日本原水爆被害者団体協議会（被団協）がノーベル平和賞を受賞しました。反核・平和の流れを北東アジアまで広げることは人々の共通の願いです。

市民社会の運動と連携して、東アジア首脳会議（EAS）などで話し合い、東アジアを「戦争のない平和の地域」にする条約の締結に向け努力されるよう要請します。

要 請 事 項

① 対立ではなく協力を優先させる

自然災害、感染症予防、環境問題などの協力を優先し、相互の信頼を醸成すること。

② 戦争しないルールを作成する

主権の相互尊重と内政不干渉、紛争の話し合い解決、武力による威嚇と武力行使を禁止する。「東アジア友好協力条約」を制定し、締結をめざすこと。

名 前	住 所

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 Eメール：info@japan-aala.org
送付・連絡先：〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館6F ☎：03-6453-7297

取扱い団体（ ）

* ASEAN本部とあわせて、2025年ASEAN議長国のマレーシアと日本国政府には、署名に基づく要請書を提出します。

解説 国際署名 ASEAN (東南アジア諸国連合) とは?

ASEANがめざす「ASEANインド太平洋構想 (AOIP)」とは?

1967年に5か国で発足したASEAN (東南アジア諸国連合) は現在10か国、2015年に「共同体」となりました。日米安保条約や北大西洋条約機構 (NATO) のような軍事同盟・機構でなく「地域協力機構」です。ASEANは政府間組織ですが、半民間の組織や市民との連携をすすめています。また域外国との協力拡大をめざし、紛争を平和的に解決する「東南アジア友好協力条約 (TAC)」加入国を世界に広



げるとともに、「ASEAN地域フォーラム (ARF)」や「東アジア首脳会議 (EAS)」など重層的な地域協力、平和の枠組みづくりをすすめてきました (下図)。1995年には東南アジア非核兵器地帯条約も締結しました。2019年にはインド太平洋全域を平和地帯化する「ASEANインド太平洋構想 (AOIP)」を採択、「包摂性」「多国間主義」を堅持し、どの国とも対立・対抗ではなく、対話と協力をすすめて平和と安定・繁栄の地域にする壮大な構想で今、実現へ努力をすすめています。

(日本AALAブックレット『東アジアを戦争のない平和の地域に ASEANに学ぶ』)



東南アジア諸国連合 加盟国 加盟年

東チモールは2022年11月～オブザーバー参加。加盟見込み。



2024年12月3日、日本AALA署名提出ツアーラオス訪問団はラオス外務省ASEAN局に国際署名13865筆をチャロン ポーシサワット局長 (写真右) に提出し懇談しました。

ASEANの重層的な地域協力の枠組み (2024年10月現在)

2025年のASEAN議長国はマレーシア



